

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 70
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	文化・芸術のまちづくり事業		会計	款	項	目	2,863,568	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	8		
事業の概要								
文化・芸術の一層の推進を図るため、文化イベントの開催及び運営支援を行います。多様化する市民の文化・芸術ニーズへの充実を図り、市民の関心が高まる事業を「長岡京芸術劇場」として展開します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京芸術劇場の事業数・入場者数				単位	事業・人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成28年度新規事業 (参考:長岡京音楽祭 6事業 3,295人)	目標	14事業 8,500人	16事業 9,500人	18事業 10,500人	20事業 11,500人	22事業 12,500人
		実績	15事業 9,864人	20事業 17,591人	19事業 18,593人	21事業 14,312人	17事業 5,041人
<p>・新型コロナウイルス感染症により、イベントの実施が難しい中、文化芸術にふれる機会として、市への寄贈作品の一部を市ホームページで「#おうちギャラリー」として公開しました。</p> <p>・また作品の発表の機会をつくるため「みんなで作る#おうちギャラリー」として、市民の創作作品を募集し、市ホームページで公開しました。</p> <p>・イベント等をどのようにしたら実施できるのか、実施施設や参加団体と調整を行い、ガイドラインを作成するなど、開催に向けた対策を検討しました。</p> <p>・長岡京芸術劇場実行委員会事業として、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行い、「国民文化祭記念オーケストラ」によるコンサートおよび「長岡京室内アンサンブルコンサート」を実施しました。</p>					乙訓文化芸術祭「バレエの祭典」		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施判断においては、できる限り実施できるようガイドラインの作成や参加団体等との調整を行いました。度重なる緊急事態宣言により、準備や練習がままならず、イベントを中止せざるを得ない状況となりました。 ・実施にあたっては、施設等のガイドラインに従い、安全に実施することができました。 ・コロナ禍による感染対策のため、入場者数は例年よりも減少し、事業数も減りましたが、やむなく実施できなかった事業を含めると17事業ありました。 ・市ホームページに掲載した「#おうちギャラリー」「みんなで作る#おうちギャラリー」には約1,500件の閲覧数があり、多くの市民が文化にふれるとともに、市民の発表の場を作ることができました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントが実施できないことにより、発表者のモチベーションが下がってきています。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、どのように市民の文化・芸術へのニーズに対応し、関心を高めていくかが課題となっています。 		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<p>1:計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、これまでの取り組みを継続するとともに「新しい生活様式」での文化・芸術活動を展開し、市民が文化・芸術にふれる機会が維持できるよう取り組んでいきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 71
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつついている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	長岡京記念文化会館 運営支援事業		会計	款	項	目	72,200,000	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	8		
事業の概要								
長岡京記念文化事業団に対し運営支援を行い、質の高い舞台芸術の提供と充実を図ります。また、京都府に対して長岡京記念文化会館の機能充実を求めます。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京記念文化会館(ホール)入場者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	97,405 (平成26年度)	目標	98,500	99,500	100,500	101,500	102,000
		実績	77,736	87,805	89,894	83,298	11,878
<ul style="list-style-type: none"> 長岡京記念文化会館の主催事業として、音楽(2公演)、人形劇(1公演)、映画(4上映)の事業が実施されました。 長岡京市文化芸術推進ビジョンを軸として事業を実施していくため、「長岡京記念文化事業団」として、文化庁の「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」補助金の申請を行うための支援を行いました。結果は不採択となりましたが、今後、「文化芸術のまちづくり」につながる長期事業計画案を作成することができました。 					国民文化祭記念コンサート 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—		—
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言の発令等により、ホールの利用が1か月あたり0件から最大13件と大幅に落ち込みました。使用率は前年度の54.4%からさらに落ち込み、23.3%となりました。また客席数の利用を半数としたことにより、入場者数も大幅に減少しました。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、会館利用の中止が相次ぐ中、8月から芸術団体や個人を対象に低額な料金で舞台を練習会場として提供する支援事業を実施し、ピアノ、合唱、吹奏楽、オーケストラ等で11件の利用がありました。これによりコロナ禍の影響で発表等の機会が失われた市民に会場を提供することができ、またコロナ禍後の利用につながる取り組みとなりました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、どのように事業を再開、展開していくかが課題です。 			

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で引き続き、通常通りの事業の実施は困難であることを踏まえ、利用者の安全を最優先に会館のガイドラインに沿って、状況に応じた質の高い文化芸術事業の企画を支援していきます。 事業を実施できる状態となった際には、市民の鑑賞の機会を増やすとともに、文化芸術団体の活動拠点として活用されるようホールとして対応できるよう取り組んでいきます。 感染症対策のノウハウを提供できるよう各地のホール等の動向にも注意して対応していきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 72
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	文化活動推進・支援事業		会計	款	項	928,737	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4		
事業の概要							
生涯学習や文化芸術への関心の増進と交流を図るため文化団体の文化・芸術活動を推進し、活動支援を行います。							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	文化まつり等文化団体事業における参加者数(出品者・出演者・鑑賞者)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	9,505 (平成26年度)	目標	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600
		実績	9,752	7,758	9,123	7,092	1,945
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、新たな文化・芸術活動の支援として「新しい生活様式に対応した文化奨励事業補助金」制度を創設し、動画配信により発表を行う団体に対し、会場費や動画撮影費用等の支援を行いました。 長岡京市文化協会が主催する事業に補助金を交付するとともに、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して「第29回長岡京展」、「写真」をテーマとした文化講座や、各種市民文化教室の開催を支援しました。 					第29回長岡京展 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 長期間にわたって準備が必要な事業が多く見通しが立たない中、目標を達成することができませんでした。 一方で、新型コロナウイルス感染症拡大から1年が経過し、どのような感染対策が必要かわかり始めたことにより、人が密集する状況を作らないよう内容を見直すなど、規模を縮小しながら事業を実施しました。 文化団体事業への参加者数は減少しましたが「新しい生活様式に対応した文化奨励事業補助金」制度には、年度途中(9月)の創設にもかかわらず、3件の応募、合計で約2,439件の閲覧があり、多くの市民が文化芸術にふれる機会となり、出演団体には貴重な活動発表の機会となりました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、どのように市民の文化・芸術活動の場、発表の場をつくっていくのか、支援を行っていくのが課題となっています。 			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	文化芸術団体と協議調整を行いつつ、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、これまでの取組を継続するとともに「新しい生活様式」での文化・芸術活動を展開し、市民が文化・芸術にふれる機会が維持できるよう取り組んでいきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 73
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさと文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	埋蔵文化財調査センター及びふるさと資料館の検討		会計	款	項	22,230,000 10,722	生涯学習課
			一般	10	4		
事業の概要							
長岡京市公共施設等再編整備構想2017に基づく埋蔵文化財センターの今後と(仮称)ふるさと資料館基本構想に基づく整備の検討を行います。検討においては「整理作業・展示・保管」の3つの機能に分け、それぞれについて課題を整理し方向性を検討します。							

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	埋蔵文化財センターの啓発事業参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	3,600 (平成26年度)	目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績	2,657	2,848	3,882	2,453	2,772
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査センターで常設展示のリニューアルを行い、特別企画展「山崎合戦と恵解山古墳」や「まいぶんミニ企画展」を開催し、来館者は述べ2,772人でした。 コロナ禍における分散型のイベントとして、埋蔵文化財調査センターや勝竜寺城公園など市内6か所でミニ企画展を開催し、スタンプラリーで巡る「ようこそ！長岡京まちなか博」を開催しました。 埋蔵文化財調査センターの今後と(仮称)ふるさと資料館の整備について、庁内で公共施設の再編検討と合わせて情報共有を行いました。 					市役所前駐車場発掘現場 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により講演会等は実施できませんでしたが、関係課との連携による大河ドラマ関連事業として、特別展示や市内周遊イベントを開催し、長岡京市の歴史文化の情報発信を行うことができました。 (仮称)ふるさと資料館の整備については、新庁舎の中に歴史資料展示コーナーの設置を進めることで、引き続き協議を行いました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化する埋蔵文化財調査センターと飽和状態の収蔵スペースの今後については、引き続き協議・検討が必要です。 			—

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)ふるさと資料館基本構想の具現化を図るため、文化財の総合的な保存・活用のためのマスタープランであり、アクションプランである文化財保存活用地域計画を作成します。 歴史文化資源の活用のひとつとして新庁舎の中に設置を予定している歴史資料展示コーナーについても引き続き、庁内で協議を進めていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 74
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	史跡等整備・活用事業		会計	款	項	目	3,103,975	生涯学習課
			一般	10	4	5		
事業の概要								
平成26年度に開園した史跡恵解山古墳公園を広く市民が利用できるよう充実を図ります。また、平成27年度に国の史跡として指定された「乙訓古墳群」の公有化と整備を行い「悠久の都」としての長岡京市の認知度を高めます。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	乙訓古墳群の利活用及び整備の進捗状況				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	乙訓古墳群の 国史跡指定 (平成27年度)	目 標	乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群保存整備基本構想検討委員会設置	乙訓古墳群に関する委員会・懇話会のあり方検討	乙訓古墳群保存・活用検討委員会の設置	乙訓古墳群保存・活用検討委員会の運営
実 績		乙訓古墳群公有化着手	乙訓古墳群公有化及び追加指定	乙訓古墳群に関する委員会のあり方検討	乙訓古墳群をはじめとする文化財の総合計画作成の検討	乙訓古墳群の保存・活用を含めた文化財の総合計画作成に着手	
<ul style="list-style-type: none"> 乙訓古墳群のさらなる保存・活用を進めるため、文化財保護法で定められた文化財の総合的な計画（文化財保存活用地域計画）作成に着手しました。 乙訓古墳群の公有化や整備について庁内で検討を進めました。 					国史跡 恵解山古墳 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 乙訓古墳群の認知度を高めるためシティプロモーションや観光担当課などと連携した情報発信を進めました。特に広く古墳をテーマにPR活動をしている団体と連携し、動画配信アプリを活用した新しい情報発信の取組みも実施しました。 恵解山古墳の修繕などを行い、広く市民が古墳に親しめる公園として環境維持に努めました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 国史跡乙訓古墳群には、市内5基の古墳が指定されていますが、うち3基（井ノ内車塚古墳、井ノ内稲荷塚古墳、長法寺南原古墳）が未整備となっています。 		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> これまで進めてきた史跡等整備・活用事業を一層充実させるため、文化財の総合的な計画（文化財保存活用地域計画）を作成し、乙訓古墳群の公有化や整備などの具体的な取組を進めていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 75
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさと文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	歴史資料活用・保存事業		会計	款	項	目	3,901,329	生涯学習課
			一般	10	4	5		
事業の概要								
<p>歴史資料の損失・散逸を防ぐため、市内の未調査の歴史資料を収集・調査、保存・活用に取り組むと同時に調査済みの歴史資料の補充調査を行います。</p> <p>また、中野家住宅の歴史資料の収集・整理・調査・保存を行うとともに、市民に対して収集した歴史資料及び調査成果を公開・活用します。</p>								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	中野家住宅の所蔵資料の調査と公開				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	国登録有形文化財「中野家住宅」の寄贈(平成26年度)	目標	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調書を作成、撮影及び整理	中野家住宅の所蔵資料に係る調査報告書作成	中野家住宅の所蔵資料の公開
実績		中野家所蔵の歴史資料について、寄贈を受け、調査を開始し、保存処理を実施した	中野家所蔵の歴史資料について、調査を進めた	中野家所蔵の歴史資料について調査を進め、保管のための害虫防除処理を行った	中野家所蔵の歴史資料について調査を進め、調査報告にかかる仮目録を作成した	中野家所蔵の歴史資料について調査を完了し、目録を整備した	
<p>・市内に伝来した歴史資料(中野種樹家文書・楊谷寺文書・浄土谷文書・伊関正典家資料・井ノ内地区旧公図等)について、収集・調査・整理及び保存・管理にかかる①現状把握・②クリーニング・③ナンバリング・④目録作成・⑤撮影・⑥複製物の作成・⑦ラベル貼付・⑧害虫防除・⑨修理を実施しました。</p> <p>・普及・教育活動では、各種原稿の執筆や校正、市が所有する歴史資料の貸出やデータ提供等を行いました。</p>					調査の様子		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・中野家所蔵の歴史資料について調査を完了し、資料点数880点を確認して目録を整備しました。クリーニングやナンバリング、ラベル貼付を完了し、広く活用できる状態にしました。	—
	課題等	・地域に伝わる歴史資料は、所蔵者の世代交代や価値観の多様化などによって散逸・破損・劣化が危惧されています。市の魅力発信や生涯学習社会の進展により、調査した歴史資料の積極的な活用へのニーズが高まっています。			—

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・市の歴史文化資源の総合的な保存・活用に向けた取組みをまとめる文化財保存活用地域計画の作成に向け、地域の歴史資料の調査及び適切な保存・管理を進めるとともに、これまで調査した歴史資料の活用についても文化財所有者や関係機関と議論していきます。